
大好きな言葉は「孤高道」

sakko4444

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大好きな言葉は「孤高道」

【NNコード】

N4143V

【作者名】

sakko4444

【あらすじ】

兄と私のものがたり。

もつねるねる時効かな。

そう、最近思つよつになつた。

お兄ちやんを許そつと。

私は2人兄弟の末っ子長女だ。
2つ年上の兄がいる。

この兄が、昔からとんでもない問題児。

家に遊びに来る友達はみんな、茶髪は当たり前、耳に乾電池いれて
たり、びっくりしたのは今時リーゼントな人もいるのだ。

そんな兄は小学から煙草に手をだし、中学でシンナー、高校で薬を
やつていた。

家の路地で学校帰りにばつたりシンナー吸つてる兄を見たときは本
氣でぞつとした。

あるとき、2階の部屋から
バタバタバタバタバタア～～～
と降りてきて、こつち見るなり
「お前、習字の墨もつとるや？」
「えつつ、学校で使つてゐやつあるけど。」
「ちよつと貸せや。」

次の日の朝、起きてきた兄を見て愕然。

腕に大きな入れ墨があった。

腕には「孤高道」と書かれていた。

「え？ はあ？ あの墨つてこのための墨？」

その日から兄はおかしくなった。

家の貯金箱からお金を取り、お母さんの財布からお金を取り、勝手に質屋にいれたり、

拳句の果てには、妹の私からお金を借りる始末。

もちろん、わたしはそのたびに断わってはいたが、やはり兄でも怖いものは怖い。

たまに貸すしかなかつた。

そんな兄を見て育つた私は絶対に兄にだけはなりたくないと思い、勉強をし、毎日明るく元気な笑顔をし、家の中の闇とずっと戦つていた。

もちろん、そんな息子を持つ親は一日中しかめつら。どなりっぱなし。

そんな家庭を明るくしたかった。

お兄ちゃんだけじゃなく、本当はもつと私を見てほしかつた。

私もただの中学生。子どものなのだ。

そんな生活が3年以上続き、私は高校卒業とともに家をでることになった。

もうこんな家にはいたくなかった。

家を出る前の日、

バタバタバタバタバタア～

と兄が2階からおりてきた。

家にいてもめつたに話さない兄弟。

一旦外に出たら、口をきくことを禁止された兄弟。（兄に話しかけるなと言われていた）

そんな兄が一言。

「これ。」

「え、なにこれ。」

「お前に借りた金・・・返す。」

「え、いやでも、もう覚えてないし。」

「遅くなつてわい。」

たつたそれだけのやり取りだった。
お金を貸したのが確か中2の時。
あれから5年。返ってきた。

そして、あれから10年。

今でも覚えてるあの日のこと。

そしてたまに思う出すあの日のこと。

あの時なんで、私にだけお金を返してくれたのか。（親にも友達にも借りていた）

なんで、今まで返してくれなかつたのか。
なんで、ちゃんと覚えていたのか。

なんでなんでなんで・・・

私に一つだけ分かるのは、兄はちゃんと「兄」を貫いてくれたこと。
私をちゃんと「妹」と思つていてくれたこと。

兄のことをどこかでずっと恨んでいた。
そして、そんな自分が嫌だつた。

許さう。

そう思つた。

田の前にいるのは私のたつた一人の兄。
あの時、お金を返してくれた兄。

そう思いながら、伝票を片手に席をたつた。

「お、うひぐれんの？サンキュー」

後ろからは兄のお氣楽な声だけが響いていた。

「一万五千円です。」

「・・・」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4143v/>

大好きな言葉は「孤高道」

2011年10月9日13時28分発行